

となりのミコトツキー

出雲市はトキの放鳥候補地です!

第63回

地元企業の協力に感謝

ワルツ商事さんが新たに納車されたゴミ収集車に、トキの写真及び市のイメージカラー「トキ色」をラッピングしていただきました。

今後は、広告塔として毎日市内を走ること、トキの野生復帰に向けた普及啓発に協力していただきます。



トキ分散飼育施設バックヤード体験の定期開催に向け課題を整理するにあたり、トキの野生復帰プロジェクトへの協力をテーマに活動されている、出雲村田製作所、島根島津、島根富士通の皆さんからの提案もあり、モニターイベントを実施しました。

当日は6組20人の親子が参加し、飼育員からトキの生態等について説明を受けながら、普段は入ることができない場所を見学しました。



秋になり、繁殖期を過ぎたトキの羽の色は淡い桃色へと移ろい、一番の見ごろを迎えています。9月から期間限定で公開していた、今年生まれの幼鳥3羽は、10月24日に佐渡へと旅立ちました。今後は、佐渡で訓練を受けた後、放鳥される予定です。出雲生まれの3羽が野生下で元気に飛び回ることを願っています。

おたずね／政策企画課 プロジェクト推進室 ☎21-6079



山陰
まんなか
共和国
中海・宍道湖・大山圏域市長会

中海・宍道湖・大山圏域市長会 通信

中海・宍道湖・大山圏域市長会は、中海と宍道湖沿岸の5市（出雲市、松江市、安来市、米子市、境港市）で構成し、圏域が一体となってさまざまな事業を展開しています。

■中海・宍道湖8の字ルートの整備推進に向けて

中海・宍道湖8の字ルートとは、中海と宍道湖の周囲を8の字状に結ぶ高規格道路網です。

本年8月7日に中海・宍道湖圏域の5市や市議会、経済団体で構成される「中海・宍道湖8の字ルート整備推進会議」を設立し、国などへの要望活動や地域の皆さまへのPRなど、早期の完成をめざして取組を進めています。

■整備の必要性

この圏域は、多くの観光地や魅力的な農水産品があり、特色のある産業の立地に加え、重要港湾や2つの空港を有している、日本海側でも有数の都市圏ですが、高速道路網が途中で切れているため、圏域のポテンシャルを十分に生かせていません。

8の字ルートを整備することで、圏域内の地域資源を活用した付加価値の高い製品の生産・サービスの提供を行うとともに、関係人口の拡大、地産外商を推進し、圏域の持続的な発展が期待されます。



おたずね／政策企画課 ☎21-6612 FAX 21-6752

